

Osaka Judo Therapist Association



社団法人
大阪府柔道整復師会

Vol.164 2009.9



OSAKA JUDO THERAPIST ASSOCIATION

〒550-0004 大阪市西区靱本町3丁目10番3号・TEL (06) 6444-4151・http://www.osaka-jyusei.or.jp/・E-mail:ojta@osaka-jyusei.or.jp



平成21年度 通常総会

| 指名理事全員承認される |

阪本会長が日整副会長に三選



6月6日(土)午後3時より大阪柔整会館5階ホールにおいて、平成21年度通常総会が開催された。

水田 英明総務部部長の司会進行で、昨年の総会以降の物故会員7名に黙禱が捧げられた後、安田剛副会長より開会が宣言された。

阪本 武司会長の挨拶の中で、社団法人日本柔道整復師会の臨時総会(役員選挙)で、副会長に立候補したことを報告された。(注6月14日の臨時総会で当选)続いて終身会員の規定により、3名の会員に終身会員称号の付与並びに記念

品が贈呈され、中塚貞一会員(河南)が代表して謝辞を述べられた。

定款に基づき議長に藤森厚志(北河内)、副議長に西口公啓(貝塚)の2会員が選出され登壇、その後議事録署名人に2名の会員が選出されて議事に移った。

議長から定足数が確認され、定款第24条により総会成立が宣言された。

【議事】

- 第1号議案
- ・会長指名理事承認の件
- 第2号議案(報告事項)
- ・第1号報告 平成20年度事業報告書承認の件
- ・第2号報告 平成20年度収支決算報告書承認の件
- ・第3号報告 平成20年度事業及び決算の監査報告の件
- ・第4号報告 平成21年度事業計画書承認の件
- ・第5号報告 平成21年度収支予算書承認の件
- その他
- 平成20年度大阪互助会会計決算報告書承認の件



互助会会計決算報告書承認の件について、長井啓二財務部長より報告がなされ、監事を代表して瀧口正記監事より監査の結果、適正であると報告され承認された。最後に、寺本欽弥副会長の閉会の辞で終了した。

【終身会員】
竹田文也（京阪）
今西力（天満城東）
中塚貞一（河南）
（広報部 常門裕明）



中塚 貞一 会員（河南）

第1号議案は、水田英明・長井啓二・寛健史・田中義昭・永野秀信・増井英明・藤田潤の7名の会員が会長指名理事として全会一致で承認された。その後、報告事項に移り、第1号から第3号報告は関連事項のため一括審議とし、永野秀信総務部理事、長井啓二財務部長よりそれぞれ報告した。平成20年度事業及び決算について監査の結果、監事を代表して井上泰三監事より適正であると監査報告された。

第4号・第5号報告についても一括審議とし、それぞれ担当理事より報告した。その他、平成20年度大阪

助かるはずの命

府民健康づくり講座

府民健康づくり講座が、7月25日（土）大阪柔整会館5階ホールにおいて日本赤十字社大阪府支部畑吉一指

導員により行われた。午後2時30分より午後5時30分までの3時間に及ぶAED（自動体外式除細動器）の実技を中心とした講習で参加者は30名であった。

まず日本赤十字社の主な活動は、一番に災害救護活動である。最近では、広島、九州、兵庫県西部の集中豪雨による土砂崩れ災害時の救命活動が行われた。次に、血液事業である。今現在もA型、O型が足りなくてあちらこちらで奔走されているので該当者は協力

いただきたいものである。赤十字社は7つの基本原則で動いている。一番基本原則に動いているのは、人道である。人の生命、健康、尊厳を守り、適切な応急処置をすることによって苦痛を軽減、事故を防止することを大切なこととしている。

赤十字社は街角に救急箱を配置しているのをご存知だろうか。



か。全国の交番、消防署、出張所のステッカーが貼ってある所に置いてあるので必要な時に使えるように我々も覚えておきたい。

救助において、まず赤十字社は、自分自身の安全を確保してよく観察してから、救助に向かってくださいという注意をしている。また、発見者が直ちに処置すべき傷病として意識障害・呼吸停止・大出血・気道閉塞・心停止・ひどい熱傷・中毒の応急処置は行って欲しいとしている。

まず、「生の徴候の観察」として人が倒れていたら意識を失っていないか、呼吸をしているか、脈はあるか、顔色や体温はどうか、手足を動かせるか。まずはこれを見て欲しい。そして空白

の7分間を埋めて欲しいと力説された。それを埋めるためにも活用してもらいたいの、現在地認知システムである。これは、道路標識に番号表示がされ

ており大阪府にしかないシステムなので有効に救助・事故の通報に利用してもらいたい。海の事故、救助の通報は118番なので覚えてもらいたい。



実際の海で溺れたニュース映像を使って胸骨圧迫とAEDの重要性を訴えられた。実技は2人一組になり先ほどの講義の内容を反芻しながら実際に身体を動かしながら確認していった。

参加者は畑指導員の掛け声に合わせて回復体位、毛布の使い方、人工呼吸の吹込みでは、参加者の皆さんも苦勞し、何回も何回も反復練習されるなど熱心に指導を受けられ、終了間際には質の高い質問があり内容の濃い、実の有る講義で成功裏に終了した。

（広報部 黒田邦男）

世界柔道連盟 (IJF) で日本人初の大偉業達成！！

栗本忠弘先生 (難波大手前)

2009世界柔道マスターズ選手権大会、金メダル！



柔よく剛を制す

5月28日～31日にドイツ・シンデルフインゲンで開催された世界柔道連盟 (IJF) が主催する「2009世界柔道マスターズ選手権大会」において、栗本忠弘先生 (難波大手前) が90kg級個人戦で優勝されました。

この大会は過去のオリンピック選手、またメダリストたち1300人が参加して開催された大会であります。団体戦では、ロサンゼルスオリンピックで山下泰裕選手 (当時) が負傷のきつかけとなったドイツのシユナーデル選手と対戦し、40キロ以上の体重差をものともせず引き分けた様は『まさに柔よく剛を制す日本の柔道ここに極まる』と地元新聞に大きく紹介されました。なお、この度の個人戦優勝は、栗本先生が前回世界マスターズ柔道協会 (WMAJ) 主催の世界マスターズ柔道選手権大会優勝後、交通事故で2年間の療養期間を経て、世界柔道連

盟 (IJF) の主催で初めて開催された第1回目の優勝で、歴史に残る大偉業であります。

今後とも後進のご指導を賜りますようよろしくお願い致します。

(広報部 常門裕明)



盟 (IJF) の主催で初めて開催された第1回目の優勝で、歴史に残る大偉業であります。



【戦績ご紹介】

第1回 日本マスターズ柔道大会 90kg級優勝

第2回 日本マスターズ柔道大会 無差別級 優勝

【ご要職】

日本マスターズ

柔道協会 副会長

大阪府柔道道場連盟会長

整論

原点回帰

学術部部长 寛健史

1. 【医業】と【医業類似行為】

我々柔道整復師は現在、【医業類似行為】の分野に属している。これには異論もあるがここではあえて触れずにおく。今回は、【医業】にせよ【医業類似行為】にせよ、どちらにも共通しているのは【医】であることに注目してみた。【医】とは何か。語源、先ずは漢字から探ってみた。漢字は中国で生まれ日本に伝えられたのは周知の事実である。つまり洋でいえば東洋の流れである。現在、使用されている【医】の旧字は【醫】であり、それより以前に使用されていたものが【醫】である。【医】の意味は「四方八方でなく、ある方向に（ここでは三辺を閉じて一つの方向に、つまり決められた方向に」治療を目指して）矢を放つ（手当を施す）」だそうである。



【杖に蛇】
ルマークは
のシンボ
(WHO)
の保健機構
となつて

【酉】は【酒】にあるように百薬の長なのか。そして【巫】は巫女（みこ）から。つまり【お祈り】である。【医】の原点は【呪術】から始まったとされているが漢字がそれを表現している。では西洋ではどうなのか。現代医学の創始は医聖【ヒポクラテス】からといわれている。しかし古代ギリシャにあるギリシャ神話の中には【アスクレピオス】という医神が存在していた。現代医学における医聖【ヒポクラテス】はこの医神【アスクレピオス】の子孫であるとも言われている。そして、【アスクレピオス】が持つ【杖に蛇】が巻きついている。この【蛇】は、当時、神（智神）として祀られる存在であったらしい。やはりここにも【呪術】的な意味合いがあったと推測される。実際、世

界保健機構 (WHO) のシンボルマークは【杖に蛇】となっている。これら踏まえると、【医】には単に技術として行使するだけでなく、心の抛り所として、現代風にいえばメンタル面のフォローも大変重要な位置付けになるのではないかと思われる。

また、違う角度からみていくと、日本では昔から【医は仁術（じんじゅつ）】と言

われており、これは「医は、人命を救う博愛の道である」ことを意味する格言である。この言葉は、「特に江戸時代に盛んに用いられたが、その思想的基盤は平安時代まで遡ることができ、また西洋近代医学を取り入れた後も、長く日本の医療倫理の中心的標語として用いられてきた。(ウイキペディアより抜粋)」とある。これこそ【医】の原点ではないだろうか。最近では【医業】にせよ【医業類似行為】にせよ、【医は仁術】のように経済的な価値観でしかその業の価値を見い出せないような気がしてならない。

現代医療を取り巻く環境

は、ここ数年で激変した。柔道整復師の環境は特にである。もう一度【医の原点】に立ち返り、真摯な態度で取り組まないと業界そのものが【医】の世界から退場させられてしまう。危機感を持つて取り組みたい。

2. 一生【鍛錬】

「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす」これは宮本武蔵の【五輪書】に記載してある一文である。意味は「千日は概ね3年、万日は概ね30年。3年の稽古で鍛を意味し、30年の稽古で錬を意味する。つまり技術を磨くことは、そう簡単にできるものではなく、しっかりと鍛錬し（30年程の歳月をかけて）、習得するものである。」らしい。

最近、我々の業界も修行するという環境が非常に少なくなってきた。以前は、徒弟制度が当然であり、30年とはいわないがそこそこの年月をかけて師匠から技術だけでなく、倫理感や酒の酌み交わし方？まで教わ

り、独立開業した後は、自分がまた弟子へ伝えていったものである。しかし現在は、慰安的要素が主の同業者が激増し、そのようなところへは修行というよりはアルバイト感覚で【勤める】というスタイルにみえてならない。修行もわずかで、即開業し、慰安的手技のみで外傷は一切みない（みれない）、受領委任払い制度の意味も解らない。このような後輩達が蔓延すれば、本当に業界そのものが退場させられてしまうのではないかと危惧している。

しかし、後輩達だけでなく、我々現役世代ももう一度振り返り必要があるのではないか。筆者もまだ開業して30年経過していない。つまり鍛錬中である。日々鍛錬し、後輩達に自信を持つて接することができる【柔道整復師】でいたいと思うと同時に、自分が日本の伝統ある【柔道整復師】という【矜持】を持つて邁進していきたいと思う今日この頃である。

総勢340名集結！！ 盛大に開催される！！

第18回 日整全国少年柔道大会、大阪代表選手が決定

第21回

大阪府知事杯争奪 大阪柔整少年柔道大会

「小学生の部」 高学年個人戦・低学年団体戦



6月21日(日) 午前9時より大阪柔整会館5階柔道場において、第21回大阪柔整少年柔道大会が主催・社団法人大阪府柔道整復師会、後援・大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪府教育委員会、大阪府柔道連盟、大阪府柔道道場連盟、協賛・

大阪府柔道整復師協同組合で、団体戦と個人戦の参加者、総勢340名の選手が集結して盛大に開催された。試合前に監督やコーチからの激励、観覧席から家族らが見守る中、定刻に司会進行の谷山文陽柔道部員が「整列！」の号令。田中義昭柔道部部長の開会宣言で始

まり、主催者を代表して阪本武司大会会長の代行徳久輝明副会長が「社団法人大阪府柔道整復師会は、各地域において健康増進事業として各種講習会の開催や、各種スポーツ大会においても健康相談並びに健康増進事業を実施しております。選手の皆様には、日頃の練習の成果を充分発揮し、悔いの残らないよう精一杯戦ってください」と開会の挨拶に続き、大会開催にご協力頂いた行政並びに関係団体の皆様へ謝辞を語った。

ご来賓紹介の後、牛島庸夫審判長から試合上の注意、東部雄大君(ミキハウス柔道教室)の選手宣誓、開会

式の後、2試合会場に分かれて学年別個人戦と団体戦が、トーナメント方式で挙行された。



試合が進行するにつれ、監督やコーチからの檄、見守る家族や道場関係者からの声援も高まり、団体戦・個人戦の決勝戦では静まる緊張の中、堂々とした熱戦が繰り広げられた。

閉会式で成績発表と表彰式が行われ、本大会は盛会裡に終了した。

なお、東部直希・山本晋平・今村達哉・樋口裕大・東部雄大の5名は大阪代表として、10月12日(月・祝)開催の「第18回日整全国少

年柔道大会」に出場する。最後に、審判員、総務、実務、救護、社団法人大阪府柔道整復師会附属専門学院の皆様がた、お疲れ様でした。これからも地域に根ざした各種柔道大会を実施し、柔道の発展向上と、年少女の健全育成に努めて、社団法人大阪府柔道整復師会が、年少女たちの輝かしい未来を創造する一翼を担っていただきたい。

【ご来賓紹介】
大阪府柔道連盟会長 河崎武夫氏
大阪府柔道道場連盟会長 栗本忠弘氏
(広報部 常門裕明)



第18回 日整全国少年柔道大会代表選手

大阪の柔道復活を担う選手たち、大阪柔整会館に集結

文部科学大臣旗争奪 第55回大阪柔整少年柔道大会(中学部) 第54回大阪柔整柔道団体優勝大会

柔道整復師による柔道の発展向上を目指す標記大会が、8月30日(日)午前9時より大阪柔整会館5階柔道場において、社団法人大阪府柔道整復師会主催により、中学生19道場、中学生女子選手40名、9団体道場、本会より13ブロック、日整全国柔道大会大阪予選出場選手8名、紅白戦出場選手8名が参加し、ご来賓の方々など350名以上の参加で立錫の余地なく早くも会場は熱気に包まれた。

東島憲之大会副委員長の司会で、田中義昭大会委員長の開会宣言に引き続き主催者を代表して阪本武司大会会長の代理山田豊広報部長が「社団法人大阪府柔道整復師会は青少年の健全育成・人間育成を目的としてこのような柔道大会を開催しております。選手皆さんは日頃の練習の成果を出して、精一杯戦ってください。」と激励

の挨拶を述べた。続いてご来賓を代表して大阪府柔道連盟河崎武夫会長よりお祝いと励ましの言葉を戴いた。団体戦・個人戦がトーナメント形式で開始するや否や、監督や道場関係者または観客席からの指導や声援を背に受け、大阪柔整少年柔道大会では、中学生らしく精一杯力を出し切った試合で、大阪柔整柔道団体優勝大会は、選手たちが胸を合わせ、道場の名誉のために力の限り戦った。

表彰式の後、閉会式で水田英明総務部長が開会宣言を述べ大会は終了した。この大会は大阪を代表する柔道大会の一つに数えられ、歴史のある柔道大会である。この大会を支えてくださった審判員の皆様はじめ、総務、大会実務をお手伝いだいた汎愛高校柔道部員に記して感謝申し上げます。

中学生女子 学年別優勝者



3年生 林志保 (大新柔道会)



2年生 新田 有由葉 (ダイコロ少年柔道教室)



1年生 池本 彩花 (守口東部少年柔道教室)



中学生男子 優勝 明武館 田邊道場



優勝 盛毅館 栗本道場

大阪代表選手が決定!! 目指すは優勝旗奪取を決意



日整全国柔道大会に出場する予選会の結果、田中義昭監督（三島）率いる大阪チームは小田剛（和泉）、平田和義（豊能）、桂剛（堀江）、小池正人（三島）、矢船倫久（淀川）の5選手が代表に決定した。10月12日の全国大会優勝を目指して頑張ってください。

第33回 日整全国柔道大会 大阪予選会

同日午後1時から開会式が執り行われ、小路益弘会員（和泉）の選手宣誓後、日整大阪予選会、紅白試合、大阪柔整ブロック対抗柔道優勝大会が開催された。

紅白対戦表

	紅				対戦	白			
	ブロック	段位	年齢	氏名		ブロック	段位	年齢	氏名
1	堀江	初	32	稗田正佳	○ -	和泉	外	29	小路益弘
2	天・城	初	35	小島健市	×	和泉	初	31	阪本仁司
3	河南	弐	64	井間庸介	- ○	天・城	弐	40	岩岡賢市
4	北河内	四	33	金生健志	○ -	天・城	参	34	高田幸太郎

【紅白試合】
出場した各ブロック8名の選手たちが紅白に分かれて対戦し、2対1で赤組が辛勝した。

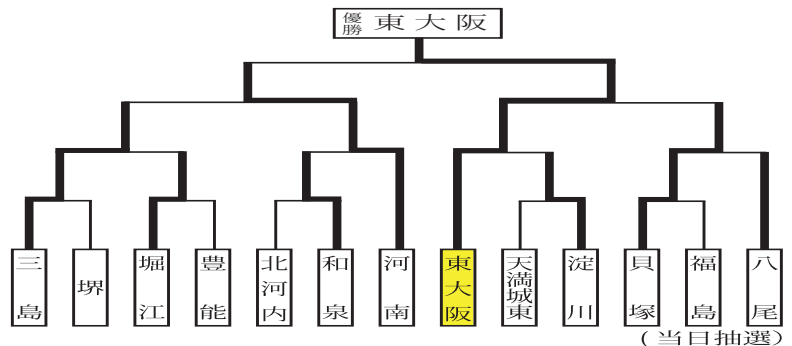
第27回 大阪柔整ブロック対抗柔道優勝大会並びに紅白試合



【大阪柔整ブロック対抗柔道優勝大会】
13ブロックによる大阪柔整ブロック対抗柔道優勝大会がトーナメント形式で行われ、決勝戦で東大阪ブロックが肉薄する河南ブロックを振り切り、6年ぶりに優勝旗を手中に収めた。
(広報部 常門裕明)



第27回 大阪柔整ブロック対抗柔道優勝大会



優勝 東大阪ブロック



第二回
夜間講座

ナイトセミナー

「公開ケースカンファレンス」

去る5月30日(土)、午後5時30分より大阪柔整会館5階大ホールにおいて、2回目となるナイトセミナーが開催された。

今回は週2日(水・土)大阪府柔道整復師会附属診療所(オージエイクリニックス)で整形外科外来を担当していた川村和哉先生を講師にお迎えした。川村先生は普段、大阪市鶴見区にある和田病院で整形外科部長として活躍され、肩関節を専門として、野球選手、特にピッチャーへの治療・指導に精通されており、近年では野球に限らずアスリート全般のケア&ケアに奔走されている。また保存療法、中でも運動療法を重要視されており、我われ柔道整復師に対しても大変ご理解のある先生である。

今回は前回の講義形式と

は異なり、事前に募集し会員より寄せられた日常の施術における疑問や、患者への運動指導などについての質問に対し、川村先生にお答えいただくカンファレンス形式で、会員、学生、一般合わせて100余名を集めて開催された。

議題となった主な疾患、内容については以下に紹介する。

・「脊柱管狭窄症」

1. 主な症状として仰臥



川村 和哉先生



位で下肢に痛み

2. 画像のみで触らずには診断不可

3. 間欠性跛行とは、本当に足が重くて歩行が出来ない状態

4. 膀胱傷害の有無

5. 9割程度が筋力低下(姿勢性のもの)

筋力低下が原因のものには、体幹の矯正、運動指導、筋力強化を行うことで改善を試みる。また、歩く、運動するという意識を持たせる指導も大切である。

・「膝関節OA」

オペ後の指導として

1. 四頭筋に力を入れ膝

関節伸展させ、大腿後部を伸ばす

2. 2〜3ヶ月位は皮膚の熱感を伴うため、アイシングを行う

3. 筋トレは1日おきに行う

痛み(炎症) ↓安静 ↓回復 ↓痛み ↓安静 ↓... という悪循環にならないように指導、管理を行う。また、運動としては膝関節伸展運動のほうが好ましい。

・「野球肘」

1. 骨折の疑いがあるの

で、X線検査は必須である。

2. 体全体を使わず、手投げの場合に生じる。

3. ピッチャーの投球動作の歩幅はだいたい足が6足半(高校野球レベル。プロで7足半)であり、そう

することで体全体を使つて投げることができる。そのためには体、特に股関節の柔軟性が必要。

その他にも患者に対する細かい運動指導や、メンタル面の指導について、また時に実技を交えていた

に聞き入り質問し、川村先生には1時間の予定を大幅に延長してお答えいただいた。散会後も先生の元に質問に訪れる参加者も見られ、大変盛況で有意義なセミナーとなった。

柔道整復師の資質が問われる昨今、学術部ではさらなる地域医療への貢献、会員、学生の学術・技術の研鑽、医接連携のため、今後このような研修会を企画していく予定である。

(学術部 阪本仁司)



大阪市介護予防防事業

新規委託契約説明会

第1回 申請について

昨年度に始まった大阪市介護予防事業への柔道整復師参入が大きな成果を上げた結果、引き続きの事業所募集となり、増井担当理事司会のもと、6月10日(水)大阪柔整会館5階ホールにて説明会が開催された。

阪本会長から全国的な参入状況を含めた挨拶があった後、大阪市健康福祉局介護予防事業担当の葦本課長が「介護保険制度及び介護予防事業の概要」、以下担当職員から「運動器の機能向



第2回 身体機能評価方法について

上事業(その他型)の概要、「契約における具体的な事務手続き」の説明があり、受託を希望する68名の会員が熱心に耳を傾けていた。質疑応答も活発に展開され、柔道整復師がこの事業に賭ける思いがひしひしと伝わってきた。またこの説明会は東大阪市健康福祉局の職員も傍聴されており、柔道整復師の参入が大阪市だけでなく府下全域に広まるきっかけになることを期待したい。

最後に徳山保険部長から、業務の拡大に繋がる本事業において、社団法人大阪府柔道整復師会が全国的にも突出していること、それが柔整界の閉塞状況を打破する鍵となることなどの説明があり、出席した会員を力強く励まして閉会となった。本事業受託希望会員は、日を改めて保険部介護委員から実務の研修を受けた後、大阪市との委託契約を締結することとなる。

第3回 実際の流れについて

6月17日(水)午後2時から大阪柔整会館5階ホールにおいて、先の6月10日に行われた大阪市介護予防事業新規委託契約申請説明会に続いて、実務の身体機能評価方法について、木谷博行介護事業運営委員会委員長の司会進行で行われた。

検者に申東奎委員、被検者に大谷元幸委員が努め、①握力②下肢伸展筋力③フアンクショナルリーチ(バランス能力)④Timed up&goテスト(複合動作能力)⑤通常・最大歩行速度(歩行能力)⑥片脚立ち時間(開閉眼バランス能力)のそれぞれ説明を交えながら測定を行った。これは要介護者の筋力、バランス機能、歩行能力、複合動作能力の各体力要素を評価し、どの要素が低下しているかを把握する上でたいへん重要なプログラムである。

続いて上島幸一委員が、6月24日(水)午後2時から大阪柔整会館5階ホールにおいて、標記の通り説明会が行われた。第1回は申請について(10日)、第2回は体力測定について(17日)、そして今回は実際の流れについて、と3回に亘っての開催である。増井英明介護担当保険部理事の司会で、はじめに徳山健司保険部部长より挨拶。講師紹介の後、井本光男会員より、特定高齢者の選定・発掘、大阪府医師会から地域包括支援センターへ通告し、社団法人大阪府柔道整復師会を経て事業開始という一連の流れの説明が行われた。

上島幸一委員より

- 1、トレーニングにおける1日のスケジュールについて
- 2、バイタルチェック時にトレーニングを中止する要件について
- 3、トレーニングを実施する際の注意点について

それぞれ説明が行われた。活発な質疑応答の後、契約書の提出と案内があり説明会は終了した。

契約書は社団法人大阪府柔道整復師会より大阪市へ提出される。「契約」に違反すると罰則が科せられることを充分念頭におきながら、我われ柔道整復師の業務範囲の拡大に繋がるこの事業を発展していこうではないか。

今後このような活動報告を行っていきますので、OJTAタイムズ、並びにホームページをご覧ください。ますますようお願い致します。

(広報部 常門裕明)

ブロック公益事業

住江 難波大手前ブロック

住江・難波大手前ブロック 合同研修会

広報委員 永井秀明

6月20日(土)午後4時から大阪市住吉区土田クリニックリハビリ室にて川合康博学術委員の司会により大阪市立大学整形外科・阪和病院人口関節センター徳原善雄先生による「人工関節のリハビリ」についてご講演頂きました。

最近、人工関節を入られた患者様に接する機会も



多くなってきましたがどのように対応すればいいのか勉強する機会が少なかったように思います。加齢と共に出現する疾患、骨粗鬆症・骨折・変形性膝関節・股関節症のお話からどのようなタイミングで人工関節をすればいいのか現在の人工関節(素材・耐久・術後日程)の現状、退院後ROMの低下、リハビリの大切さ、股関節のリハビリでの運動角度、方向の注意点を講義頂き定刻を過ぎる程の質疑応答後の終了となりました。参加された多数の会員の方々にとても有意義な時間だったと思います。

最後になりましたが会場となりました土田クリニック土田耕正院長・スタッフの皆様方にも御礼申し上げます。

北河内ブロック

学術研修会を 一般公開で開催

広報委員 岡崎雅也

7月11日(土)午後4時

30分より門真市古川橋駅前の仙亭において、協力指導病院、田中診

療所理事長の田中範明先生を講師にお招きし、学術研修会が開催された。



「誤診しやすい病態」を演題に、我われが日ごろ遭遇する外傷受傷時に、陰に隠れやすい合併症をわかりやすくご講演いただいた。

また施術時に必ずといっていいほど目にする腫脹や浮腫の病理を先生手作りのイラストを交えたスライドを使用して解説していただいた。学生の時には勉強したはずのことも日々の施術時に見逃しがちであったことを改めて感じさせられた貴重な一時間であった。

今回はブロック会員および研修生だけでなく一般の方にも研修会を公開し、聴講い



び研修生だ

けでなく広く一般の方にも研修会を公開し、聴講い

ただけの方がたに、我われ柔道整復師の学術研鑽の姿を知っていたたく良い機会になったのではないかと思う。

河南ブロック

第4回 少年少女柔道大会

広報委員 赤坂通明

3月20日(金)羽曳野市立総合スポーツセンターはびきのコロシアムサブにて、「第4回河南ブロック少年少女柔道大会」を開催しました。

米倉淳二大会実行委員長の開会宣言に始まり、渡邊清市大会会長のご挨拶と続き、谷畑孝衆議院議員、竹本直一衆議院議員、阪倉久晴大阪府議会議員、藤田博誠羽曳野市教育委員会教育長、本会から田中義昭柔道部長よりご挨拶を戴きました。吉田新吾審判長から試合上の注意の後、選手宣誓により試合開始となりました。

600名以上の選手達が



日頃の練習の成果を競い合う中、今回は女子の活躍が目立ち、特に3年生の部では女子同士の決勝戦となっていました。力を出し切れず悔し涙を流す選手も多く、試合会場では白熱する試合が繰り広げられ、熱戦を勝ち抜いた入賞者には賞状・メダル・トロフィーが授与され、健闘が称えられました。

会場のスペースの点で初めはやや混雑した感はありませんでしたが、この大会が大会関係者の総力で運営され、無事に終了いたしました事をご報告いたします。選手達の更なる活躍を期待します。

八尾ブロック

あなたの町の整骨院と健康の集い

実行委員長 坂本明

7月26日(日)開催の会場として、八尾市文化会館の研修室を、1月末に予約し催事の準備が始まった。

さて当日、実行委員12名を代表して、坂本明委員長から「歳だからとあきらめないことです。例えば川の魚は、川上に頭を向けて、流れに逆らって泳いでいます。何もしないでいると流されてしまいます。」と参加された高齢者に向け開会の



挨拶を申し上げます。

ご来賓には、谷畑孝前衆議院議員、松井一郎大阪府議会議員、田中誠太八尾市長、平田正司八尾市議会議員、池尻誠八尾保健所公衆衛生協力会会長、鏑野智樹社団法人大阪府柔道整復師会附属専門学院校長らのご臨席があり、「市民の方々の健康生活に大変有意な催事であります。」とありがたいお言葉を戴いた。

今回の口演(講演)は、坂本明八尾ブロック相談役が、『救命の主役はあなた。防災の日や救急の日があります。大切な命、1年365日が応急手当の日!』と題して、1時間15分を担当しました。実は講演2題を予定していたが、急遽の変更が生じたためである。もうひとりの口演担当予定だった高内寿晴会員からの「昨年大腸ガン手術を受け、今年になって肝臓の手術が必至となりました。今は健康と病気の試験中で、明るく元気に頑張っている毎日であ

ります」との伝言が読み上げられた。当日の坂本は「高内先生、頑張れ!」と祈りを込めて口演を行った。

口演の前半は「昔のことは覚えていないが、つい先ほどのことを覚えていない。2階が上がってきたが、何のために上がってきたのかなあ。また、道で知り合いと出逢ったが、誰やったかなあ、お家に帰り晩ご飯を作っているとき、私の息子がやったんやと思いつく…」など、その他に目の症状、耳の症状など、勘違いの思い違いが多くなることの例を挙げると、笑いが大きく続いた。口演の後半は、気道確保(Airway)、人工呼吸(Breathing)、胸骨圧迫(心臓マッサージ(Circulation))など救急ABCについて、命に関わる話題についての熱弁の中にも「マウスツウマウスで戴きマウス」などの言葉が出ると、真剣なようすのお顔に、やはり笑いがこぼれた。

骨密度無料測定は、先着40名様に受けて戴いたが、「歳

と相応やったわ」と話す方が、去年の数字と比較し笑顔を見せる方もいた。同時に並行して実施された、業務範囲で承る健康相談では「こんな症状も整骨院で診てもらえますか」などの質問、「普段から通院している整骨院(柔道整復師)に期待している」などの感想、「健康のためになる体操を教えてください」などの要望があったりし、この催事の意義を再確認した。

全部を省みて、これは4月の準備から参画し、当日も朝から会場の設営に汗を流して戴いた精鋭12名の委員によるご尽力の賜物である。なお、やおFMチャオ(コミュニティ放送局)や、八尾タイムズ(地元新聞社)からの取材もあり、関係者による感謝申し上げる次第である。

会場の整理整頓、委員全員による反省会の後、それは参加市民が帰宅された頃でもあったが、止んでいた雨がまた降り出した。しかし今まだ熱気が残る委員らの肩には、小雨は優しく感じられた。

難波大手前ブロック

昨年に続き西成区民まつりに参加

難波大手前ブロック会長 細川泰由

8月3日(日)午後3時、西成区民センター・地下鉄岸里駅周辺において、『第34回西成区民まつり』が開催された。



今回は香川クリニックスのスタッフ3名と西成地区の若手会員7名が協力し、地域の皆様の健康管理に少しでも役立ててもらえればと、「骨密度測定(100名)」と「健康相談」そして同時に(接骨院)に関してのアンケート



随筆・武井老師に想つ

大阪柔整総合研究室

室長 角田善章

午後の施術。施術所には徒歩で行く。その途中の交差点で付近になじまぬ光景を見た。

茶髪の2・3人の男女が道行く人にチラシを手渡し、来店の誘いをしていった。胸につけた名札で向かい

側にある美容院の店員と分かるが、ふと嫌な気がした。このところ更に厳しくなった経済不況と同業者の乱立にあえぐ、柔整業界の写しえのように見えたのだ。

それから数ヶ月ほど後、今では故人になられた書家の相田みつ

おさんが、18歳から40年間師事されていた武井哲応老師のお話をテレビで放映しておられた。

武井老師



は禅林の僧。老師の言われるのには檀家には公平に接しなくてはならない。多額の寄進をする檀家は常に大きな態度をしているがこれはこれで放っておくのだと。小額だが精一杯喜捨される檀家は隅で小さくなっている。老師は務めて気にかけて、声をかける。これで公平だと話された。

従来本会の会員は開設者即ち管理柔道整復師であった。全ての責任は一人で負った。それが近年危うくなっている。開設者が柔道整復師の他、医院、病院、養成校の経営者、スポーツクラブ、他の営利企業であったりする。

その形態はチェーン展開する整骨院が多く派手な看板とチラシ、施術所内の商品広告、料金表、商店街ではチラシを配り客引きも行われているという。本会にもその整骨院従事者である管理柔整師の入会申請が来る。公益社団法人である本会に

堰はなく、また一旦会員となればその権利に差はなく、会員としての義務を果たしておれば了とするほかない。

問題はチェーン展開する整骨院の開設者のほとんどは会員ではなく権利もないが同時に会員としての義務もないことだ。従事者に客引きを止めさせろとは言えない。しかし本会の会員でない者にへつらうことも大きな態度をさせておくこともない。

医療、柔整業が営利に傾いてゆくなか、公益社団法人に向かう本会が念頭に置かなくてはならないのは医療のなかでの柔道整復師の存続だ。それには執行者は会員と話し合う場を設け倫理をわきまえ仁慈に富んだ人間集団になることをともに手をたずさえ目指すことだ。

高野山奥の院燈籠堂に高野山の歴史とともに灯され続けている持経の燈は俗に貧者の一灯といわれ貧しい老女が寄進した尊い灯明とされる。

春の女性部 研修旅行に参加して

貝塚ブロック 馬場尊子

4月18日(土)、19日(日)有馬温泉のダイヤモンドリゾート有馬ソサイテイーにおいて、女性部の研修旅行が開催されました。

両日とも、晴天に恵まれ、8名の参加で、午後3時に集合し梅田から阪急バスで、一路有馬温泉へ向かいました。19日(日)は、バスで新神戸へ移動し、ロープウェーに乗って神戸港を一望しながら布引ハーブ園に到着し、散策しながら自然を満喫致しました。

私は、今回初めて参加させて頂きましたが、和気あいあいとした雰囲気の中で、日頃の業務の疲れを癒し、又女性柔道整復師ならではの情報交換をしながら、親交を深めた2日間となりました。

社団法人大阪府柔道整復師会に於いて女性会員は、5月1日現在で115名。全会員数の約6%ですが、日

を実施した。

アンケートでは受検者の7割が女性で、その中の8割以上の方が整(接)骨院で施術を受けた事が有るといふ結果が出た。骨粗鬆症等の心配もあり、女性の多くの方が健康に留意し、検査結果のデータ説明に興味深く聞き入っていた。

今回のアンケートには、ケガをされた方には100%整(接)骨院で施術を受けてもらい、我われ柔道整復師が地域医療には無くてはならないというお声を頂けるよう、アピールし活動して行くことと思った。



頃お互いに、ゆつくりと共有する時間も少ない中で、この様な機会を頂き、諸先輩方の苦勞と努力と業績を再確認させて頂き、大変よかったですと思いました。そして共々に今後の生活の活力となる有意義な時間を過ごす事が出来、充実した研修旅行になりました。

女性会員の皆様方には、今後とも研修旅行や茶話会、新年交歓会等、参加出来る時には、御気軽に参加して頂きます様よろしくお願致します。

広報部 information

OJTAグループホームページ及び「会員専用ページ」の運用が開始されました。

OJTAグループホームページ <http://www.ojtagroup.jp>

会員専用ページへのログインは、OJTA（大阪府柔道整復師会）・OJTC（大阪府柔道整復師協同組合）・OJC（オージェイクリニック）各ページの「会員専用ページ」から御利用可能です。

ログインにはIDとパスワードが必要です。(ID 6444)(Password 4151)

ID及びPasswordは随時変更されます。変更時は「OJTA Times」にて告知します。

▲▼▲ メール配信システムにご登録頂きますようお願いいたします。 ▲▼▲

メール配信システムとは会員の先生方のパソコンメールや携帯電話に、速報や有意義な情報をいち早くお届けするシステムです。(ご登録方法につきましては、8月末に送付しました詳細資料をご覧ください。)

訃報

天・城／鶴見地区
福原 将教 会員
 平成21年5月12日

天王寺／阿倍野地区
山崎 義彦 会員
 平成21年6月6日

和泉／泉大津地区
杉原 成允 会員
 平成21年8月16日

には、薬石効なく逝去されました。
 謹んでご冥福をお祈りします。

新入会者紹介

6月

淀川／東淀川・大仲 秀和：三島／吹田・鹿島 紘樹
 三島／高・島・西村 吉昌：福島／福島・大津 研一
 八尾／八尾・竹中 大昭：天王寺／平野・巴山 昭子
 天王寺／東住吉・金谷 克幸：天王寺／阿倍野・高田 将之
 堺／堺西・新谷 真史：堺／堺北・高木 宏信
 堺／堺中・筒 憲治：貝塚／岸貝・大久保 孝之

計12名

7月

三島／高・島・樋口 真臣：豊能／豊中・河島 友之
 豊能／豊中・葛西 隆一：豊能／豊中・堤田 貴満
 豊能／豊中・坪井 浩司：天・城／旭・竹田 勉
 北河内／守口・金山 浩幸：京阪／枚方・西村 未央
 八尾／八尾・原田 裕弘：天王寺／天王寺・山出 裕之
 堺／堺北・井上 顕一

計11名

8月

淀川／東淀川・柳 直樹：三島／高・島・古賀 直行
 天・城／鶴見・葉山 直史：豊能／豊中・三木 幸一郎
 天王寺／平野・小林 安隆：和泉／和泉・嶽 達也

計6名

大阪に集う

接骨医学学会 会長 守屋 秀繁先生に学ぶ



総評

学術部部长 寛 健史

本年より全国各ブロック学会が日整主催となり、名称も「社団法人日本柔道整復師会大阪学会」と改め、今年で第3回目の大阪学会を無事開催することができました。会場も本会大阪柔

整会館から大阪商工会議所へ移し、全国からのご来賓も含め多数の参加者を迎え入れられたことは、実行委員の一人として大変嬉しく思っております。特に守屋秀繁先生の特別講演は立ち見席が出るほどの大盛況で、講演内容も変形性膝関節症についてのお話でしたので、我々柔道整復師が日々の臨床活動で多く対峙している疾患ということ



もあり、参加者が熱心にメモをとる姿を見ていると運営サイドとしても非常に充実感に溢れておりました。また一般発表も年々内容が充実し、発表者同士がお互い切磋琢磨しているのがよく解ります。そして本年から養成校のポスター発



発表者と演題

【特別講演】

『変形性膝関節症の病態と治療』

日本柔道整復接骨医学学会 会長 守屋 秀繁 先生

【一般講演 第一会場】

ゼロ負荷クローリンググダウンについて
露口 誠 (豊能ブロック)

レナサームを使用した第1中手骨基部骨折の整復・固定
樋口 正宏 (淀川ブロック)

肩関節下方脱臼 (関節窩下脱臼) における1症例
河井 好照 (難波大手前ブロック)

整復不能な第5趾節間関節脱臼に
対する低出力超音波パルス効果
外林 大輔 (森ノ宮医療学園専門学校)

小児スミス骨折の2治療例について
富永 晃 (東大阪ブロック)

【一般講演 第二会場】

ママさんバレーボール大会における
BEFORE PLAY テーピングの有効性についての調査
近森 清 (堀江ブロック)

肩腱板損傷に関する文献調査
徒手検査による所見が予後を推測できるか？
服部 博幸 (明治東洋医学大学院専門学校)



第3回 大阪学会

「技と英知」

膝のスペシャリスト、日本柔道整復



守屋 秀繁先生

表も取り入れ、学生達が在校時代から積極的に学会参加することにより業界全体がレベルアップしていくと期待しております。また今回は臨床フォーラムを新たに企画し、5人の会員の先生方に、パネリストとして【技・術】についてお話しして頂きました。臨床経験の豊富な先生方のお話を聞くことは本当に楽しみであり、時間が少なかつたことが心残りです。

これらを総括すると、今学会は本当に充実した学会



だったと思っております。ですが、大阪学会はまだまだ未熟な学会であり完成されておられません。実行委員として運営上、多かれ少なかれミスやトラブルはあります。これらのミスやトラブルは反省し精査していき、次回学会運営に生かしていかなければなりません。回を重ねるごとに、より円滑な運営ができ、そしてより魅力ある学会を構築していきたいと思っておりますので、今後とも御指導御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。感謝

- 【第3回会場（ポスター発表）】
- 物理療法による関節可動域の改善
森ノ宮医療学園専門学校 井上良一以下7名
 - 超音波治療器による疲労回復
大阪府柔道整復師会専門学校 春田匡宣以下6名
 - 症例報告 腰椎椎間板ヘルニア保存療法の限界
行岡整復専門学校 小川哲治以下5名
 - 握力
↳文部科学省新体力テスト
(20〜29歳男女)平均値との比較と利き手・非利き手の調査
大阪府柔道整復師会専門学校 宮本雅之以下5名
 - 柔道整復師養成学校におけるCPR講習の実際
東洋医療専門学校 中平健太以下8名
 - 乾いた状態と湿った状態での包帯の強度変化
大阪府柔道整復師会専門学校 川村倬廣以下6名
 - 前十字靭帯再建術後の後療法の実践
行岡整復専門学校 山口誠之以下4名
 - 足関節内反捻挫における固定材料の違いによる固定力と実用性について
大阪府柔道整復師専門学校 森山愛梨奈以下6名
- 【臨床フォーラム】
- 『技を極める 〜柔道整復術について語る〜』
- 滝口正記先生・橋本等先生・富永晃先生・西村貴夫先生・井間庸介先生
 - 第5指基節骨折に対する機能的ギプス固定法の治療経験
田中精一（北河内ブロック）尾崎祐二
 - 脊柱可動域改善とバランス改善の重要性
清田祐基（難波大手前ブロック）
 - 筋肉を発症している損傷筋の特徴
上勝也（アムス柔道整復師養成学院）
 - 末梢療法（下肢屈筋）
井間庸介（履正社医療スポーツ専門学校）

大阪学会 華々しく開催

— 第3回 社団法人 日本柔道整復師会 大阪学会 —



8月23日(日)

午前11時より

大阪商工会議

所において、

「第3回 社団

法人 日本柔道

整復師会大阪

学会」が社団

法人 大阪府柔道整復師会

の主管で、来賓として全国

の柔道整復師会会長や役員

のご臨席を賜り、また1,

000名以上の会員、学

生、一般参加者が参集し、

賑々しく開催された。

開会式では、安田 剛副会

長による開会宣言の後、主

催者を代表して社団法人日

本柔道整復師会 萩原 正会

長が「会員が一同に会し、

日頃の研鑽された臨床経験

による研究結果を発表し、

資質の向上を図ることは

誠に意義深いものがありま

す。また、国民から柔道整

復師に対する要望は一層高

いものがあり、その期待に

応えていかなければならな

いと考えます。」と決意の

言葉を述べた。

開催地を代表して社団法



人大阪府柔道整復師

会 阪本 武司 会長が「特

別講演をお願いした守

屋 秀繁先生は、医療界

から唯一人の横綱審議

委員であり、モンゴル

力士を始めとして外国

人力士の活躍について

守屋先生から薫陶に感銘を

受けたお話に、学生諸君も

人格形成に大いに役立てて

いただきたい。」と挨拶。

ご来賓の学校法人 杏文学

園 東京柔道整復専門学校 高

山 精雄理事長から「なんで

も 関心を

もち 歴史

的 変遷を

知ること

によつて

大局的に

物事を考

え、足元か

ら 実践していただきたい。」

とご挨拶いただいた。

開会式の後、日本柔道整

復接骨医学学会 会長 守屋 秀

繁先生による特別講演『変

形性 膝関節症の病態と治療』

が行われた。守屋 秀繁先生

は 膝関節外科、関節鏡、ス



ポーツ医学がご専門で、我々

柔道整復師の施術範囲と範

囲外の鑑別診断方法につい

てもお話しいただいた。

午後の臨床フォーラムで

は、臨床経験豊富な5人の

会員を迎え 健史 学術部長

の座長により、骨折・脱臼

を 整復時の要点や治療例を

それぞれの立場や施術方法

で紹介。

11題の一般発表、8題の

ポスター発表の3会場は多

くの聴講者で、質の高い質

問が多く出されたのは今大

阪学会の特徴と言つてもい

いのではないか。

表彰式の後、寺本 欽 副

会長の閉会の辞で滞りなく

終了した。

(広報部 常門 裕明)

